

礎

～いしずえ～

浜松市青少年育成センターだより

2018年 (vol.2) 秋号

浜松市青少年育成センター

〒430-0929 浜松市中区中央一丁目2-1 イーステージ 浜松オフィス棟 7階

電話(053)457-2418

Fax(053)454-3708



子どもたちは地域の見守りの中で育っています

こども家庭部次世代育成課長 小田切 峰二

以前、2年間ではありますが、行政職からの校長として小学校に身を置かせていただくことができました。昨今、「コミュニティ・スクール」という取組が市内の小中学校で少しずつ実践されてきています。皆さんご存知ですか？私が赴任した小学校ではモデル校の指定を受け活動を始めました。「コミュニティ・スクール」とは、“学校と地域・保護者が手に手を取り合って（一緒になって）、子どもたちの成長を見守り、協働して育てていく”、そんな取組です。

その活動を通じて、毎回話題となったことは、登下校時（大きく捉えれば、放課後や休日の時間を含めて）の子どもの安全安心をどうやって確保していくかということでした。地域における交通事故多発地点など危険個所を地図に落とし込んだ印刷物を配付したり、学校のホームページに掲載したりして注意喚起を図った記憶があります。



こうした活動の中で、特に印象に残っている言葉があります。「地域の子どもは、地域で見守り育てる」。この言葉でどれだけ学校現場において安心感が高まり、励まされたか分かりません。現在の部署で、補導活動や健全育成活動に関係する会議に出席する機会が多くありますが、その会議の中でもこれに類した言葉を良く耳にします。



子どもたちは、市内それぞれの地域で生活しています。遊びなど主な活動の場所も地域です。そうした子どもたちの動きを地域の方の目で見守っていただくことで子どもたちは心穏やかに成長することができるのだと思います。

昨年度の青少年育成指導員による補導活動は、実施回数で延べ465回、2,657名の方の参加をいただいたという報告がありました。これは、5,300を超える目で見守っていただいたこととなります。こうした方々に自治会や保護者の皆さんが関わっていただければさらに地域での見守りの力は増していきます。

次代を担う子どもたちの健やかな成長のためにも、皆さんのお力添えをいただきますよう今後ともよろしくお願ひします。

青少年育成指導員の活動報告

4月から9月までの上半期6ヶ月分の補導状況をまとめました。今年は浜松市内48地区の健全育成会から193名、高等学校等から29名の推薦をいただき、計222名の青少年育成指導員で補導活動を進めています。浜松駅周辺補導は火・金・土の週3回、地区補導は各地区で概ね2ヶ月に1回程度巡回しています。

1 補導活動実施回数・参加者数 ～平成30年4月から9月まで～

		区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計			区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
実施回数	浜松駅周辺補導		11	9	12	10	12	14	68	参加者数	浜松駅周辺補導	153	126	197	142	131	123	872	
	地区補導		20	17	19	25	28	20	129		地区補導	64	53	69	75	84	62	407	
	祭典等特別補導		0	7	0	1	0	0	8		祭典等特別補導	0	21	0	70	0	0	91	
	合計		31	33	31	36	40	34	205		合計	217	200	266	287	215	185	1,370	

【単位：回】

【単位：人】

2 街頭補導に見る青少年の実態 ～平成30年4月から9月まで～ (浜松駅周辺&地区における補導・声掛けの状況)

	行 為	学職別					合計	
		具体的態様	小学生	中学生	高校生	他の学生		学生外 (無職・有職)
不良行為注意・指導	喫 煙	喫煙している。またはそのためにタバコや喫煙具を所持している。		1	1		1	3
	不健全性的行為	健全育成上支障のある性的行為をする。			2			2
	自転車二人乗り	自転車で二人乗りをしている。			11			11
	自転車携帯等操作	自転車に乗りながら携帯電話・音楽機器等を操作している。			4			4
	その他自転車の違反行為	自転車の並進・一時停止・信号無視などの行為をしている。			6			6
	不良行為注意・指導数計			0	1	24	0	1
声 掛 け	カラオケ店	カラオケ店内で声を掛けた。 (例ー遅くまで遊んでいないように。)		13	51		2	66
	ゲームセンター	ゲームセンター店内で声を掛けた。 (例ーお金を遣いすぎないように。)	25	17	67		2	111
	アクト:シヨパンの丘	シヨパンの丘周辺で声を掛けた。 (例ー暗くならないうちに帰りなさい。)		5	110			115
	路 上	路上で見かけた気になる行為や善行に対して一声掛けた。	19	43	12	2	2	78
	その他の場所で	その他の場所で一声掛けた。	77	53	176	6	6	318
	声掛け数計			121	131	416	8	12
合計			121	132	440	8	13	714

【単位：人】

3 青少年育成指導員会議総会

5月26日（土）、浜松市教育会館において「浜松市青少年育成指導員会議総会」を開催しました。

まず、総会の開催に先駆けて永年にわたり青少年育成指導員として従事して下さった13名に感謝状の贈呈を行いました（詳細は下記に記載）。

総会では、平成29年度の補導・環境浄化活動の報告、平成30年度青少年育成指導員会議組織の確立、補導・環境浄化活動の方針及び計画について協議を行いました。協議の中で、浜松駅周辺補導活動の火曜日の開始時間について変更をし、5月から10月の期間の活動開始時間を17時とし、11月から4月の期間の活動開始時間を16時と決定しました。

今年度は、48中学校区の青少年健全育成会と西遠地区高等学校生徒指導研究協議会から推薦された222名の青少年育成指導員で活動を実施していきます。

〈感謝状贈呈者一覧〉

【敬称略】

氏名	年数	選出団体	氏名	年数	選出団体
大渡三千子	20	西部中学校区健全育成会	野末 定明	10	引佐南部中学校区健全育成会
山田 恒雄	5	西部中学校区健全育成会	田畑 勝次	5	曳馬中学校区健全育成会
夏目 良子	5	舞阪中学校区健全育成会	太田 正彦	5	開成中学校区健全育成会
伊藤 俊樹	5	光が丘中学校区健全育成会	倉田 勇	5	東部中学校区健全育成会
川島 隆史	5	清竜中学校区健全育成会	野中 庸孝	5	清竜中学校区健全育成会
鈴木 由紀	5	江西中学校区健全育成会	新井 浩志	5	西遠女子学園中学校・高等学校
本間 光一	5	浜松西高等学校			



〈感謝状贈呈〉



〈小杉会長の挨拶〉

4 青少年育成指導員会議新任育成指導員研修会・立入調査員研修会

6月24日（日）、浜松市教育会館において「青少年育成指導員会議新任育成指導員研修会」と「立入調査員研修会」が開催されました。今年から青少年育成指導員を委嘱された方を対象とした新任育成指導員研修会では、補導活動の要領や補導員の心得について学習しました。

立入調査員研修会では、本年度の立入調査と社会環境の実態調査について実施の目的や調査手順の説明等がありました。各地区の青少年育成指導員・立入調査員の方々の協力により浜松市内の膨大な件数の調査を実施することができています。



P T A補導研修の報告

本事業の目的は、講義研修と実地研修を通して、補導活動の概要と青少年の動向を知り、地域の健全育成活動に生かすことにあります。

1 研修の種類と参加者数

- (1) 講義研修：4～7月（計4回）土曜日9時30分から「教育会館」にて開催
- (2) 実地研修：4～7月（計12回）土曜日15時45分から「浜松駅周辺」を巡視
- (3) 参加者

ア	講義研修	実施：4回	参加者：126人
イ	実地研修	実施：12回	参加者：104人
ウ	参加総数	小中学校保護者：230人 (小学校128人 中学校102人)	
エ	青少年育成指導員（実地研修に携わった指導員）：延べ41人		
- (4) P T A会長研修会：講演「青少年の現状と課題」 参加者：125人



2 研修を通して

- ・講義研修では、「大人として青少年の行動に目を配ることの大切さを再認識できた」や「学んだことを活動の中に生かしていきたい」という感想の一方、「知らない子供に声掛けをするのは難しい」といった感想もありました。
- ・実地研修では、「浜松駅周辺の実際の活動を見たり、青少年育成指導員の体験談を聞いたりしたことで、改めて補導活動の重要性を知ることができ、よい勉強になった」という感想を多く聞けました。
- ・7月の実地研修では酷暑の日々が続いたため、体調不良にならないように注意喚起をしました。

県内一斉夏季少年補導の報告

- 1 実施期日 平成30年7月20日（金）基準日
- 2 参加対象 浜松市内小中学校143校
- 3 実施時間 午後4時～5時（1時間程度）など、各校（区）が時間を設定
- 4 実施場所 浜松市内全中学校区及び浜松駅周辺と繁華街
- 5 参加数 1,591人（青少年育成指導員61人、学校職員688人、P T A609人、健全育成会158人、警察官14人、自治会21人、他40人）

6 補導の結果

- (1) 巡視場所 1,596箇所（遊興施設、スーパーマーケット、書店、駅、公園、駐車場、大型ショッピングセンター、コンビニエンスストア、路上他）
- (2) 声掛け数 677人

7 活動を通して

多くの皆さまの御理解と御協力、本当にありがとうございます。青少年の変化をいち早く察知するのは、やはり顔見知りの地域の皆さまです。どうか、これからも青少年への明るく温かい声掛けをよろしくお願いいたします。

今回の報告で、特に気になったことについてお知らせいたします。

- ・小学校低学年の万引きや多額のお金の買い物など、コンビニ店の出入りが多いため、日ごろからの店舗巡回やお店の方とのつながりの大切さを感じました。
- ・コンビニ店への不要の出入り、長居、悪いマナー（徘徊、騒ぎ）がありました。

浜松市出前講座を受講してみませんか？



SNS、自画撮り、デジタルタトゥー、アプリ・・・※。全てインターネット関連の用語です。どのような意味か分かりますか？

近年、スマートフォン等の急速な普及に伴い、インターネットを介したトラブルの低年齢化が進み、加害・被害事例は後を絶ちません。このような状況を踏まえ、青少年育成センターでは、情報モラルに関する出前講座を行っています。ト

ラブルの事例やそれを防ぐためのポイント、子供たちのために大人ができることなどについて話し、情報モラルの理解や家庭での見届けの必要性を啓発しています。

※SNS…ソーシャルネットワーキングサービスの略。ネット上の交流の場。
自画撮り…自分で自分の姿を撮影すること。
デジタルタトゥー…ネット上に投稿したものは一生消えないことからできた言葉。
アプリ…自分の用途に合わせてインストールすることができるソフト。



お気軽に、お問い合わせ
ください！



詳細：情報モラル講座（児童生徒向け）
健全育成知っ得講座（大人向け）
※親子で受けることも可能です。
※講師料（謝礼や交通費等）は一切無料です。

受講されたみなさんの声

- 段階を踏んで情報機器に触れさせる大切さを知り、ためになりました。
- 親の立場から伝えても上手に伝わりにくい内容を、分かりやすく説明してもらってよかったです。子供としっかり話し合い安全な使い方を一緒に考えたいです。
- 時代の変化をすごく実感しました。便利さゆえに怖いこともたくさんあるので、まず大人が理解し、子供へ伝えていくことがとても大切だと思いました。私自身も正しい知識でインターネットを利用していこうと思いました。（保護者の感想より）

「わたしの主張 2018」浜松市大会開催

7月30日（月）、教育委員会室において「わたしの主張 2018」浜松市大会が開催されました。応募総数 5,097 点の中から、一次審査・二次審査を経て選ばれた 5 名が、「社会に向けての提案」や「未来への希望」などを堂々と発表しました。どの発表も体験に基づき、聞き手に感銘を与える主張で、審査は難航しました。審査結果は以下のとおりです。

優秀賞の 2 名は、8 月 17 日（金）に清水マリナートで行われた静岡県大会に出場しました。



〈大会出場者と審査委員の皆様〉

浜松市大会審査結果

優秀賞

〈発表順〉



「つながりの色」

浜松市立湖東中学校

3 年

鈴木 陽菜

人と違うことを恐れ、個性を埋もれさせて生きていた私。心の殻を破るきっかけを与えてくれたのは、セルビア人の父でした。私は自分のカラーを前面に出すことで、みんなの心をつなぐ架け橋になりたい、と強く思うようになりました。人と人とのつながり、その本当の意味を問いたいと思います。

「自分を好きになる」

浜松市立佐久間中学校

3 年

内山ほの葉

私は足が不自由です。だから、辛い思いや羨ましい思いをたくさん味わってきました。でも、様々な面から足を見つめたことで、得たものもあると気づきました。足も含めて「自分」です。良さも悪さも受け入れた上で足を好きになり、そして自分自身をも、好きと言えるようになりました。と思います。

優良賞

〈発表順〉

「琴線に触れる十七音の詩」

浜松市立東陽中学校

3 年

鈴木 碧

「我が家の主ふ」

浜松市立北浜東部中学校

3 年

石川 伸朗

「尊い一日」

浜松市立北浜中学校

3 年

中山 沙都

静岡県大会・全国大会審査結果

静岡県各地での審査会で選ばれた 13 名の中学生が、日常生活の中で感じていることや未来への思いなどを、自分自身の言葉で生き生きと発表し素晴らしい大会になりました。浜松市代表の 2 名は、多くの聴衆の前で堂々と発表し、内山ほの葉さんは最優秀賞、鈴木陽菜さんは優秀賞と来場した中学生が選ぶ共感賞を受賞しました。なお、最優秀賞を受賞した内山さんは、推薦を受けた 12 名が参加する全国大会に出場しました。全国大会では、力強く堂々とした発表で審査委員会委員長賞を受賞しました。応援ありがとうございました。



若者相談支援窓口「わかば」

若者相談支援窓口「わかば」では、15歳から概ね40歳未満までの社会生活をうまく送ることができない若者に関する相談を受付けています。

どこに相談したら良いか分からない困りごとを抱えた若者やその家族が、皆さんの周りにいらっしゃいましたら、若者相談支援窓口「わかば」を御紹介ください。



月、水、金（祝日・年末年始を除く） 9：00～16：00
電話 053-454-4848

平成30年度上半期（4～9月）の相談内容及び相談件数は以下のとおりです。

項目	就 労	いじめ	ひきこもり	不登校	非行・犯罪	依存症	子育て	家 族	生活不安	その他	合 計
件 数	16	2	25	36	7	5	1	12	70	18	192
割 合	8.3%	1.0%	13.0%	18.8%	3.6%	2.6%	0.5%	6.3%	36.5%	9.4%	100%

※単位：上段は延べ相談件数、下段は構成割合

不登校やニート、ひきこもり等の悩みに個別に応じる「合同相談会」

8月18日（土）浜北文化センターにおいて、不登校やニート、ひきこもり等の悩みに個別に応じる「合同相談会」を開催しました。

就労支援団体、県立高校（定時制）、通信制高校、通信制サポート校、不登校や発達障がいの子供を抱える親の会等38団体がブースを設置し、計115組184名の相談に応じました。

・話ができよかった。
・気を楽しもとうと思えた。
・とても行きやすかった。
・少し未来が明るくなった。
・相談する場所がなかったので、このような相談会があってよかった。
・いろいろな考えを知ることができた。
(参加者のアンケートより)



多くの団体が参加しているので、相談しやすいですよ。

また、相談会前の時間を利用して、支援団体同士が情報交換を行う「交流会」を開催しました。連携が深まる有意義な会となりました。

来年度も合同相談会を開催する予定です。

浜松市子ども・若者支援プラン

「浜松市子ども・若者支援プラン」とは、子ども・子育て支援や社会生活を円滑に営む上で困難を有する若者を支援するための施策です。

今年度は、現行「浜松市子ども・若者支援プラン」（平成27年度～平成31年度）の次期計画策定にあたり、「困難を有する若者支援」に関するニーズ調査を行います。

これを踏まえて、今年度も若者支援者フォローアップ研修会を開催します。



浜松市いじめ問題対策連絡協議会

「いじめ防止対策推進法」の施行を受け、浜松市は「浜松市いじめ防止等のための基本的な方針」を策定し、この方針に基づき、いじめ防止等に関係する機関及び諸団体の連携を図るために、「浜松市いじめ問題対策連絡協議会」（以下協議会）を設置し、年間2回の協議会を開催しています。

○平成29年度第2回協議会

- ・平成30年1月24日（水）開催
- ・浜松市いじめ問題対策取組一覧の作成
- ・入野地区における先進的な取組事例の紹介
（入野地区社会福祉協議会）



〈平成30年度第1回協議会の様子〉

○平成30年度第1回協議会

- ・平成30年8月21日（火）開催
- ・平成29年度いじめに関する調査の結果報告
（浜松市教育委員会）
- ・各機関及び諸団体におけるいじめ対策の取組紹介



平成30年度第1回協議会において、各機関及び諸団体の代表である委員で「浜松市いじめの防止等のための基本的な方針」についての共通理解を図り、「行政そして家庭と学校と地域が連携していじめから子供を救う」ということを念頭に置き、当協議会を運営していくことが確認されました。議事の中で、浜松市教育委員会より平成29年度浜松市小中学校におけるいじめの認知件数や態様及び対策等について報告がありました。また、委員より各機関及び諸団体の取組について紹介されました。今後、いじめの撲滅や未然防止に向けて、各機関及び諸団体の連携をどのように強化していくか等の協議が行われました。